

入賞選手と青木会長（右端）



陸災防愛知支部 ■ リフト大会

【愛知】陸災防の愛知県は、全国大会が38回目の開

支部（青木均支部長）が6月24日、中部トラック総合研修センター（愛知県みよし市）で開いたフォークリフト運転競技大会で、カリ

ツー東刈谷営業所の岡田洋祐選手が優勝し、昨年、カリツと

して19年からの連覇が途絶えた雪辱を果たした。

青木支部長が「新型コロナウイルス禍は完全に収束したわけではないが、経済が盛んになりつつあり、我々を取り巻く環境は活況

を見せ始めている。当大会

は、全国大会が38回目の開催を迎える中で44回目となる安全への先鞭を付ける取組。日頃の成果を存分に発揮してほしいと激励。

競技は学科300点、点検100点、運転600点

表彰式で、青木氏は「入賞選手は、日頃の成果をいかんなく発揮された

結果だと思ふ。ただ、この大会の目的は、普段使ったりフトが危険な機械となり得ることを各社に水平展開

し、労働災害事故防止につなげることにあるので、協

業所

の計1千点満点で、13事業所

の代表選手29人が熱戦を繰り広げた。結果、岡田選手が点検と走行での満点を

含め総合988点で1位と

3位 石垣佳大（鳴海急送愛知営業所）▽4位 福

岡和幸（カリツー東刈谷営業所）

木圭介選手（ダイセー倉庫

（梅本誠治）

カリツ、雪辱果たす

初めの全国大会に挑みたい」と

（梅本誠治）